

## 1-2-1 デジタルを活用した安全・安心の確保

県土整備部

### めざす姿

(社会インフラ) デジタル技術の活用により、データ収集の範囲を拡大し、その利活用を深化させることで、県民の皆さんの安全・安心な暮らしが確保されている。

### 現状と課題

- 三重県は多数の河川を有しており、ハード整備には長期間を要するため、今後の気候変動もふまえ、住民への情報提供や管理者等の即時対応を行えるようICTを活用した観測体制の強化が必要である。
- 道路状況の収集力・発信力が不足している現状を改善し、平時・災害時の道路状況を適切に収集し、的確な情報発信を行っていくとともに、道路サービスレベルの維持・向上のため、効率的で効果的な管理体制の構築が必要である。

### 取組概要

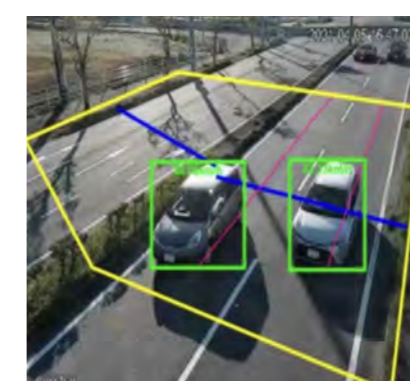
- 大規模災害への備えとして、河川監視カメラや水位計等の配備拡充による被災箇所での早期発見・初動を迅速化する危機管理体制の強化
- 道路施設の利用・管理を効率的・効果的にマネジメントするため、ICT・AI技術を活用したモニタリング体制の拡充・点検の高度化等の推進

### 具体的な取組

- 重点監視箇所での水位・画像データのリアルタイム収集・提供
- 県管理道路における道路状況の常時モニタリング
- AIを活用した路面標示劣化検知システムの開発



簡易型河川監視カメラ



道路状況の常時モニタリング



AI路面標示劣化検知システム

### 取組内容／目標項目

被災箇所を早期発見し、初動を迅速化する体制の構築

インフラメンテナンスの効率化

### 現状値 (2022年)

パトロールや住民などからの通報を中心とする情報収集

路面標示劣化検知システム試験運用

### 目標値 (2026年) 又は実施スケジュール

道路・河川の重点監視箇所における画像情報の集中監視体制の完成

路面標示劣化検知システム本運用中